




令和6年 **3**月の大阪**森林**便り

目次

3月の木の話 F☆☆☆☆の意味は？

- (1)  丸太輸出最高 昨年 20.5%増 中国向け 円安追い風
- (2)  輸入木材、在庫が半減 住宅需要低迷 商社、調達手控え
- (3)  国産針葉樹合板、2%下落 2か月ぶり 住宅向け不振続く



3月の木の話 F☆☆☆☆の意味は？

*ホルムアルデヒドは熱硬化性の木材用接着剤の原料としてや、接着剤の防カビ剤として利用されています。

*接着剤中に遊離したホルムアルデヒドや、硬化後に加水分解して生成したホルムアルデヒドが大気中に放出し、室内環境を悪化させることが問題となりました。

*シックハウス対策として 2003 年の建築基準法改正で、ホルムアルデヒドを放散する建材は居室の内装用としては使用制限を受けることになりました。

*合板の場合はF☆☆☆☆、F☆☆☆、F☆☆、F☆に区分されます。

*F☆☆☆☆のマークは、ホルムアルデヒドの発散速度が極めて少ない木質建材等に表示されます。

*建築用接着剤の日本産業規格（J I S）にホルムアルデヒドの規制が盛り込まれ、建材の脱ホルムアルデヒド化が進んでいます。

（木材利用システム研究会 木力検定委員会 木力検定 木を学ぶ 100 問より抜粋引用）

(1) **丸太輸出最高 昨年 20.5%増 中国向け 円安追い風**

☆*建設向けの木材などになる丸太の 2023 年の輸出量は 2022 年を 20.5%上回り、過去最高を更新。

*中国向けの増加が寄与。輸出量の 9 割が中国。

*為替相場の円安進行が日本産の輸出の追い風に。

*国内の住宅市場が停滞する中、2024 年以降も国産丸太の輸出は活発になる公算。

（2024 年 2 月 7 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

(2) 輸入木材、在庫が半減

住宅需要低迷 商社、調達手控え

*東京地区の輸入木材在庫は、1月末時点で前年同月末より37%少なく、直近で最も多かった2022年8月末と比べ53%減りました。

*背景には住宅向け需要の低迷があります。

*住宅用木材のうち、横架材の9割、柱の5割が輸入品。

*2023年の製材品輸入量は、前年を32%下回りました。

*2023年12月の木造住宅新築着工数は前年同月比4%少なく、マイナスは21か月連続。

(2024年2月8日 日本経済新聞記事より抜粋)



(3) 国産針葉樹合板、2%下落 2か月ぶり

住宅向け不振続く

*国産針葉樹合板の流通価格が東京地区で、1月に比べ2%下落。

*下落は2023年12月以来。

*プレカット会社は設備の稼働を8割程度に調整。

*合板メーカーはフル稼働時の8割程度に生産を抑えます。

*2023年12月時点のメーカー在庫は前年同月比8%減。

*木造住宅の新築着工戸数は2023年12月時点で21か月連続の前年比マイナス。

(2024年2月23日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

